

# 障害当事者講師と考える「心のバリアフリー」研修 受講のご案内

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて政府なども共生社会を目指して「心のバリアフリー」を推進する取組を始めています。しかしながら、「心のバリアフリー」という概念をどのようにとらえ、どう実践に結び付けていったら良いのでしょうか。

この研修では「障害の社会モデル」の考え方の習得を目的に、障害当事者が講師となり、障害当事者の視点で作成した動画を見ながら、グループ討議を通じて受講者に理解を促します。「障害は個人にあるのではなく環境にある」という「障害の社会モデル」的な視点を身に付けることが、「心のバリアフリー」の具体化につながります。

## 【特長】

### ①リアリティのある動画を活用し、障害者講師との対話により理解を深める！

- 動画コンテンツを活用することで、現実に近い状況を再現する。
- 障害当事者との対話を通じ、障害者が遭遇している問題について、理解を深める。

### ②自ら考える（発見型）で、「社会モデル」の考え方を学び、行動へと結びつける！

- 問題の発生要因と解決策について、自らの作業、グループ討議を通じ、発見型で考える。

### ③既存の研修プログラムにプラスして実施が可能です！

- 既存のボランティア研修や企業内研修にプラスして実施が可能です。初めての方でも経験者でも、「社会モデル」を学べます。



いくら待っても車椅子使用者がエレベーターに乗れない（動画の一コマ）



ワークショップの様子

**2020年の「おもてなし」実践に必須。ぜひこの機会に受講して下さい！**

障害当事者講師と考える「心のバリアフリー」研修 事務局

一般財団法人国土技術研究センター／公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

※2つの財団が共同事務局となり、障害当事者、有識者等の参加を得て「オリンピック・パラリンピックに向けた多様な利用者の移動支援に関する共同研究」協議会を構成し、研修プログラムの企画、動画作成、実施に取り組んでいます。

## 《基本プログラム》

導入 動画上映・説明 (2分)	・研修の狙い(=エレベーターに乗れないという課題を一緒に考えよう)を伝える。 ・研修の流れ(ステップ1~3)を理解する。
ステップ1 講師の体験談 講師との対話 (5分)	・動画コンテンツにより、このような問題が起きていることが現実にあることを実感し、理解する。 ・講師が現実に遭遇している生々しい現状を語ることで、どれだけ不利益(不当な差別)を受けている現実があるかを理解する。
ステップ2 グループ討議 要因の分析 (15分)	・いろいろな要因によって、問題が発生しているという多角的な視点を獲得する。 ・要因の分析において、自分や周囲の人という「人」の対応に帰属する問題だけでなく、「施設」や「制度」、「教育」といった社会の様々なことにも要因があること(=社会モデルの視点)を理解する。
ステップ3 要因グループに対する 解決策の検討(8分)、 発表、講評 (25分)	・要因ごとの解決策を考えることで、やさしさだけで解決できない、解決すべき問題ではないことを理解する。 ・社会や環境への働きかけが重要であること、社会として考えていくべき課題であることを認識する。(=社会モデルをベースとした解決策の理解)その上で自らの行動を見出す。
まとめ 補強、結びと閉会 (5分)	・社会モデルをベースとした行動イメージ(共生社会の実現方法)を具体的な動画で補強する。

※通常 60~120 分の研修時間を想定しています。時間のご相談承ります。

※研修効果をあげるため 1 回の研修は 30 名を上限とします。

※会議室をご提供下さい。(会議室までの経路、会議室、手洗いがバリアフリーという条件がそろわないと実施できない場合があります)

※手話通訳など情報保障の費用を申し受ける場合があります。

### ○研修実施費用

研修実施場所と規模により要相談

(内訳：会場がある場合→講師謝金、交通費実費、コーディネート費、消耗品)

### ○受講のご相談

研修の開催をご希望される方は下記事務局にご連絡下さい。

また、他所で実施している研修を見学してみたいという方はご一報ください。

### ○障害当事者講師と考える「心のバリアフリー」研修事務局 [kokorobf@jice.or.jp](mailto:kokorobf@jice.or.jp)

#### 問い合わせ窓口

一般財団法人国土技術研究センター 都市・住宅・地域政策グループ  
TEL 03-4519-5003 伊藤、沼尻 <http://www.jice.or.jp/>

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部  
TEL 03-3221-6673 担当 松原、澤田 <http://www.ecomo.or.jp/>

障害当事者講師と考える「心のバリアフリー」研修

検索

